

2020
October
11

アフリカマイマイを見たら

—農薬以外の防除方法—

素手でさわらないようにゴム手袋やトングを使ってビニール袋に入れて密閉し、燃えるゴミに出してください。(詳しくは各自治体のゴミ収集分別ルールをご確認ください。)

日中は暗く湿潤な雑草池・資材の下などに潜んでいますので、それら好適な環境を減らしてください。

※寄生虫がいるので、素手でさわらないでください。

さわるな!
危険!!



アフリカマイマイとは、野菜の茎や葉などを食べる害虫です。

東アフリカ原産の陸産巻貝で、沖縄県には1930年代に薬用・食用として持ち込まれました。現在では、沖縄県のほぼ全域に生息しています。

野菜をはじめとする農作物に大きな被害を与えるだけでなく、広東住血線虫(かんとうじゅうけつせんちゅう)という寄生虫の中間宿主としても知られています。

アフリカマイマイのまん延防止のため未発地域(本土)への持ち出しが法律で規制されています。3月から11月にかけて活動します。野菜や動物の死骸などを食べる雑食性です。繁殖力が強く、産卵は5~11月にかけて数回行い、50~150卵を枯れ葉の下や土中にかためて産みます。



殻の大きさは15cmにもなります

基本的に夜行性で、乾燥している時は枯れ草や生垣の下などに隠れていますが、雨が降ると動き回って餌を食べます。



アフリカマイマイに似ていて間違いやすい

スクミリンゴガイ

問合せ

沖縄県病害虫防除センター
〒902-0072 沖縄県那覇市真地 123 番地
☎098-886-3880 FAX :098-884-9119



有料広告

有料広告